

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

混同してはならない二つの「なぜ？」 ～「知的欲求のなぜ？」と もう一つの「なぜ？」～

立科町教育相談員 岩上起美男

子どもの口から発せられる「なぜ？」という疑問を表す言葉(副詞)には、「知的欲求のなぜ？」と、もう一つの「なぜ？」があります。

この二つの「なぜ？」の違いを承知していますと、思春期の特徴を心得ている親や教師が、思春期にある子ども特有の言動に振り回されないように、(個人差はありますが)冷静に、ゆったりと子どもと向き合うことができます。

子どもから、「なぜ?」「なんで?」「どうして?」という質問攻めにあっても、(やはり個人差はありますが)、必要以上に苛々したり、慌てたりすることがありませんので、子どもとの信頼関係が築き易くなります。

しかしながら、存外、この二つの「なぜ?」の違いに無関心な方が少なくないと思われれます。混同してはならない二つの「なぜ?」にもかわららず、まったく同じ意味・用法と考え、同じように子どもに答(応)えているのです。そのため、子どもとの意思疎通にズレが生じ、子どもとの信頼関係にヒビが入ってしまうことがあります。

そこで、ぜひ、二つの「なぜ?」の違いについてお考えいただき、ことに親御さん並びに先生方におかれましては、子どもの気持ちにより寄り添うために、二つの「なぜ?」に応じた接し方を実践さ

れますことを切にご期待申し上げます。

「知的欲求のなぜ?」は、本当のことを知りたい、真理に触れたい、原理を理解したい、不幸な出来事の再発を防ぐために、その原因や背景を把握したい、そして、もっと成長したい、という人間の基本的な欲求に基づく疑問です。

(科学技術の進歩と人類の幸福は、必ずしも比例しないことを肝に銘じておきたいと考えていますが)今日の便利で、豊かな文明社会は、偉大な先人の「知的欲求のなぜ?」によって築かれたと申し上げても過言ではないでしょう。

幾多の困難や迫害に負けずに、真理を追究し、理想と正義を追い求めた先哲の「知的欲求のなぜ?」は、発明・発見及び改良・改善の原動力です。その事例には、石器・土器の発明、火と水の利用、文字の発明、地動説(コペルニクス)、万有引力の発見(ニュートン)、さらに、電気器具の発明・改良(エジソン)など、およそ枚挙にいとまがありません。

知的欲求は、人間の基本的な欲求であり、特に子どもは、瑞々しい知的好奇心に満ちあふれていますので、この「知的欲求のなぜ?」を連発します。

「なぜ空は青いの?」「どうしてテレビは映るの?」

「なんで海の水は塩っぱいの?」等々。

多くの親御さんや先生方が、このような子どもの疑問に明快に答え、子どもの知的欲求を充足させたいと願っていると思います。なぜなら、子どもの健やかな成長にとって、それが必須の体験であることを、また、この重要な役割を担っているのが親と教師であることを、十分自覚しているからです。

しかし、実際は、親も教師もなかなかその願い通りにいかないことが多いのではないのでしょうか。親(教師)としての自分の役割責任を誠実に果たそうと頑張っても、次第に説明がしどろもどろになり、挙げ句の果てに、適当にごまかしたり、「うるさい!今、忙しい。分からなかったら、自分で調べろ!」などと子どもを叱りつけたり、ということもあるのではないのでしょうか。

世の中には、分からないことや説明できないことが数多くありますので、圧倒的多数の大人にとって、子どもが繰り出す「知的欲求のなぜ?」に、明快に答え、子どもを心から納得させるのは至難の業かと存じます。

夏休み中、某ラジオ局が子ども対象の「科学電話相談」を放送します。老生は、この番組の熱心な聴取者です。